

平成30年8月28日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第9回 (8/28号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

全体的に生育は概ね順調に進んでおります。韮山地区は穂ばらみ期～出穂期となっており、来週には韮山地区全体で出穂が確認できると思われれます。長岡・大仁地区は出穂期～乳熟期となっています。

山間地では、黄熟期（穂が熟し、収穫までに色付いてくる時期）です。穂の90%程度が色付いたら収穫適期となります。田原野地区の予察圃場では今週末～来週末にかけて収穫適期になりそうです。各々の圃場を確認し、適期を逃さないようにしましょう。

② 病虫害状況

長岡地区の一部圃場で少量ですがカメムシの発生が確認されました。ご自身の圃場を確認して頂き、発生の多い圃場は薬剤防除を検討して下さい。

また、韮山地区の一部圃場で防除基準を超える量のウンカ類やツマグロヨコバイが確認された圃場があります。今回坪枯れを引き起こす秋ウンカの発生は見られませんでした。確認されたウンカ類により、『すす病』や『不稔粒』の被害がでる恐れもあります。ご自身の圃場の確認して頂き、害虫の発生の多い圃場は、水稻の生育を考慮し、薬剤防除を検討して下さい。



↑『すす病』

③ 資材紹介

<殺虫剤>

○トレボン粉剤 DL→ 3～4kg/10a を散布

ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類に効果を発揮します。

※ 収穫7日前までに3回以内使用できます。

<殺虫殺菌剤>

○ビームバシボン粉剤 DL→ 3～4 kg/10a を散布

ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、いもち病、紋枯れ病に効果を発揮します。

※ 収穫14日前までに3回以内で使用できます。

※ カメムシ類に使用するときは4kg/10a を散布

問い合わせ：韮山営農センター 西島・片山

TEL 055-949-0055